



酪農情報



—第5号—

発行日：平成18年5月25日

発行元：バイオ科学株式会社

☆酪農家紹介（青森県上北郡 K牧場さん）

“生き残りをかけた中での乳肝との出会い”

～厳しさを増す乳質等に対し、選りすぐりの添加剤で立ち向かう～

1. 作業人数：2人（御主人と奥様）
2. 頭数：70頭（搾乳頭数：40頭，乾乳・育成頭数：30頭）
3. 乳量：約29～30kg/日/頭
4. 乳肝の使用期間：
 - ①乳肝プラスリジン：平成17年3月～平成17年12月
 - ②乳肝：平成18年1月～現在に至る
5. 乳肝の給与量
 - ①搾乳牛（つなぎ）：70g 全頭給与
 - ②乾乳・育成牛（放牧）：30g 全頭給与

～使用してみた感想～

1. **事故率の減少！** 安心して牛を飼うことが出来るようになった。
2. **乳房炎の減少！** 乳房炎軟膏を使わなくても良くなった。
3. **体細胞の減少！** 平均38万単位⇒平均18万単位

※最終的に乳量へ反映され、全体的な乳量増加にも貢献している。

※乳肝を含む様々な添加剤を使用する中での成績の改善。

「乳肝」を使用する前から添加剤には大変気を使っていました。そんな中、「乳肝」のキャンペーンの案内があり、もともと強肝剤を必要と感じていましたので軽い気持ちで始めました。

実際、使い始めて直ぐの効果は感じられませんでした。しかし、継続して使用していくと以前より分娩前後の事故や全体の体細胞数の減少、特に乳房炎に対して気を使わなくてもよくなったことに気付き、「乳肝」の効果ではないかと思っています。それが、最終的に乳量増加にもつながってきていると実感しています。

乳質に対する厳しさが増す現状で、「乳肝」や他の添加剤にもこだわり、難局を乗り越える自信がついた気がします。

～「バイパスサプリ」シリーズ新商品のご案内～

乳牛用混合飼料

バイパスサプリ乳肝(ミカ)プラスC

「バイパスサプリ乳肝」に、さらにバイパス処理したビタミンCを配合した「バイパスサプリ乳肝プラスC」を新発売します。ご期待下さい！

乳牛は、外気温度が 19℃以上になると暑熱対策が必要といわれるほど暑さに弱い動物です。暑熱により高体温が持続してしまうと、発情兆候の微弱化・発情回帰の消滅などの繁殖障害や免疫力低下により乳房炎などの感染症が発症し、夏バテ症状は経営を圧迫する最大の被害になる事があります。搾乳牛は特に産乳時の発熱と夏季の高温で免疫力が極端に低下していますので、飼養環境と飼料には十分注意が必要です。免疫力増強効果のあるビタミンCを消化・吸収しやすいようにバイパス処理していますので、夏バテ防止にご期待ください。

＜含有する有効成分（バイパス処理）＞

メチオニン、ビタミンC、ビタミンB1、ビタミンB2、ニコチン酸、パントテン酸カルシウム、葉酸、ベタイン



～バイオ科学のビタミン豆知識～

ビタミンC（アスコルビン酸）とは？

- ★代表的な水溶性の抗酸化ビタミンです。
- ★副腎皮質ホルモン代謝に関与する生理機能を有し、ストレスへの抵抗性をアップします。
- ★細胞組織の結合組織であるコラーゲンの合成に働き、血管や皮膚、粘膜、骨を強くします。
- ★白血球の働きを助け、免疫力を高めて、風邪などの感染症に対抗します。

 バイオ科学株式会社

ホームページアドレス

<http://www.bioscience.co.jp/>

本社・工場	徳島県阿南市那賀川町工地 246-1	TEL:0884-42-3090
札幌営業所	北海道札幌市東区北 31 条東 16-2-2	TEL:011-786-8399
帯広営業所	北海道帯広市西 6 条南 6-3 ソビル 5F	TEL:0155-25-0002
福島営業所	福島県伊達市館ノ内 38-44	TEL:024-584-2808
関東営業所	栃木県宇都宮市御幸町 44-1	TEL:028-663-1129
阿北営業所	徳島県板野郡上板町七条字古町 54-1	TEL:088-694-6282